

京都国立博物館  
だより

二〇一八年  
四・五・六月号

# KYOTO NATIONAL MUSEUM

2018 April to June vol.198

特別展

池大雅

天衣無縫の旅の画家

特集展示

新収品展

特集展示

謎とき美術！

最初の一步

特別展

いけのたいが

# 池大雅 天衣無縫の旅の画家

4月7日(土)～5月20日(日) 〔平成知新館〕

円山応挙や伊藤若冲など、個性派画家がしのぎを削った江戸時代中期の京都画壇。その活況のなかで、与謝蕪村とともに「南画の大成者」と並び称されるのが池大雅（一七二三～一七六六）です。当時、日本でまだ充分には浸透していなかった中国絵画の新様式をもとに、それまでになかった独自の画風を確立して一世を風靡しました。

その作品は、寡欲で恬淡<sup>てんたん</sup>、さわめて謙虚だったと伝えられる人柄を象徴するような、清新で銜<sup>くは</sup>いのない明るさに満ちています。天性の才ともいえる柔軟で芯の通った線描、みずみずしい色彩感覚、おおらかで雄大な空間表現……。江戸時代を彩る数多の画家のなかでも最も魅力的であり、かつ最も重要な画家の一人でありながら、大雅の回顧展は国内では長らく開催されておらず、近年ではむしろ海外において大規模な展覧会が行われ、大きな注目を集めました。

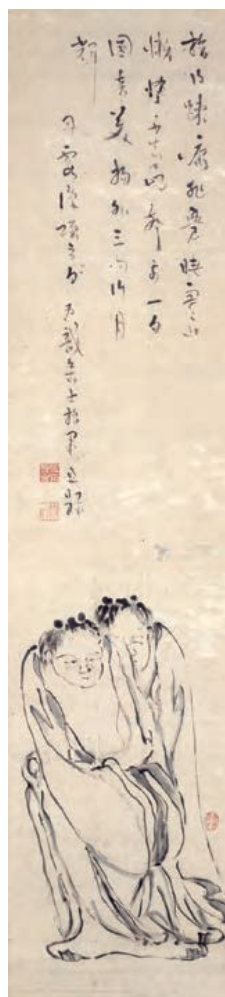
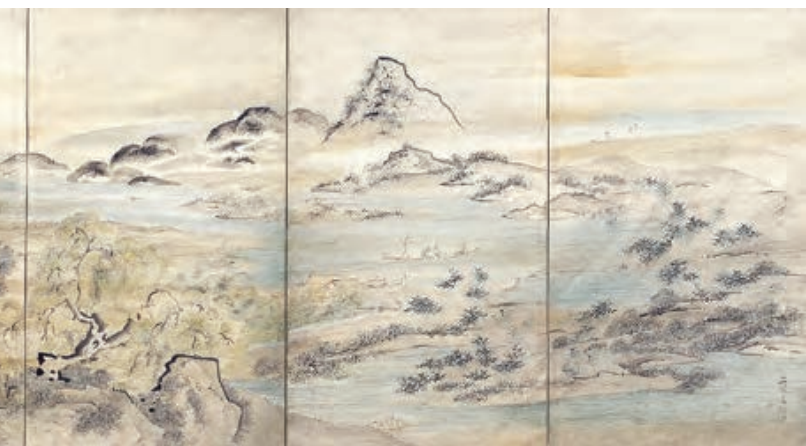
本展はこのような状況に鑑み、大雅の初期から晩年にいたる代表作を一堂に集めご覧いただくことで、池大雅という画家、ひいては江戸時代の南画の魅力を多くの方々と共有することを大きな目標としています。あわせて、その人となりや幅広い交友関係を示す資料を通して、当時から愛された人間大雅の魅力に迫ります。さらに、大雅が日本各地を訪ねた「旅の画家」であることをふまえ、その体験に基づく風景表現に注目し、彼の旅が絵画制作に果たした役割についても検証します。

## ◆天才登場―大雅を取り巻く人々

池大雅は、京都銀座の下級役人だった父のもとに生まれました。四歳の時に父を亡くした大雅は、七歳で書を学び始めるとただちにその才能を発揮し、萬福寺十二世・泉堂元祖<sup>いずみどうげんそ</sup>から「神童」とまで称されています。



渭城柳色図 池大雅筆 新潟・敦井美術館（新潟市）  
（通期展示）



寒山拾得図 池大雅筆  
京都国立博物館  
（前期：4月7日～30日展示）



風雨起龍図 池大雅筆  
（通期展示）



重要文化財 洞庭赤壁図巻（部分） 池大雅筆 京都国立博物館（通期展示）

十五歳になった大雅は、扇屋を開いて生計を立てるようになります。中国から舶載された画譜などを参考に、扇に絵を描いて売っていたのです。そんな十代の大雅を支えたのは、多くの人々との出会いでした。大和郡山藩の重臣だった柳沢淇園は早くから大雅の才能を見抜き、物心両面にわたり支援しました。

### ◆指墨画と様式の模索

二十歳代の後半を中心に、大雅は筆の代わりに指を用いて描く「指墨画」を多く制作しています。中国から伝わり、日本でも柳沢淇園らが実践した指墨画は、本来即興性の強い、いわばパフォーマンス・アートですが、大雅は指墨独特の表現に積極的な意義を見出し、それを自身の様式へと取り入れていきました。

大雅にとって、指墨は奇を衒ったその場限りの芸ではなく、自己の表現様式を確立していくうえでの重要な模索の軌跡だったのです。

### ◆大雅の画と書

七歳の時に「神童」と称されたエピソードが象徴的に示すように、大雅は画家としてだけでなく、書家としてもその名を馳せた人でした。当時流行した、唐様と呼ばれる中国風の書風を基礎に置きつつ、伸びやかで格調高いスタイルにその魅力があります。若いころ扇屋とともに印刻店を営んだと伝えられる大雅は、篆・隸を含む各体はもとより、仮名においても懐の広い優れた書を残しています。

数ある大雅の書作品の中から、特に画との見事な調和を見せる作品を中心に、大雅の書の世界をご紹介します。

### ◆旅する画家—日本の風景を描く

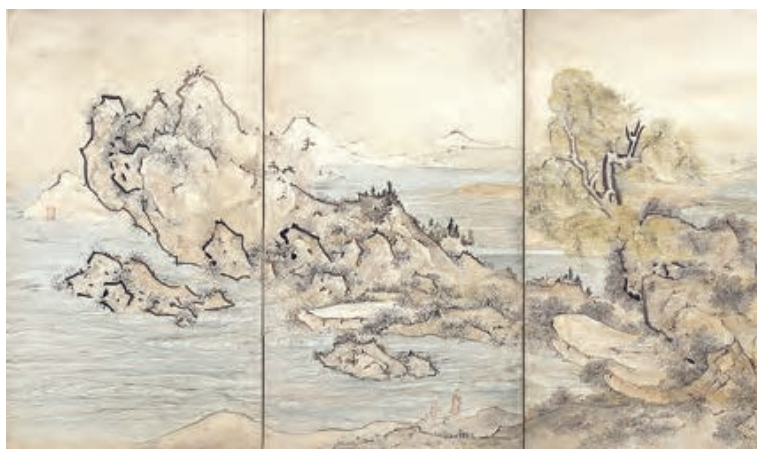
大雅は、多くの旅を重ねた画家でした。二十六歳の時、江戸に遊んだ大雅は、そこから塩竈、松島にまで足を延ばし、その美しい景色に目を奪われます。翌年には北陸地方を遊歴したほか、二十歳代後半から三十歳代にかけて、伊勢や出雲など各地を旅しています。富士山には少なくとも三度は登り、また富士山の絵も数多く描きました。

旅先で目にした自然の実感にもとづく風景表現（真景図）は、大雅の画業を特徴付ける主要テーマとなっただけでなく、これ以降の作品にも大きな役割を果たすこととなります。

### ◆天才、本領発揮—大雅芸術の完成



重要文化財 蘭亭曲水・龍山勝會図屏風 池大雅筆 静岡県立美術館（通期展示）



重要文化財 瀟湘勝概図屏風 池大雅筆（通期展示）

月2日～20日展示）



大雅の絵画芸術は、四十歳頃に完成された自己の様式へと到達します。伸びやかな筆線、デリケートな色彩の扱い、確かな画面構成力など、大雅のキャリアにおいて最も魅力にあふれるのが四十歳代以降の時期です。

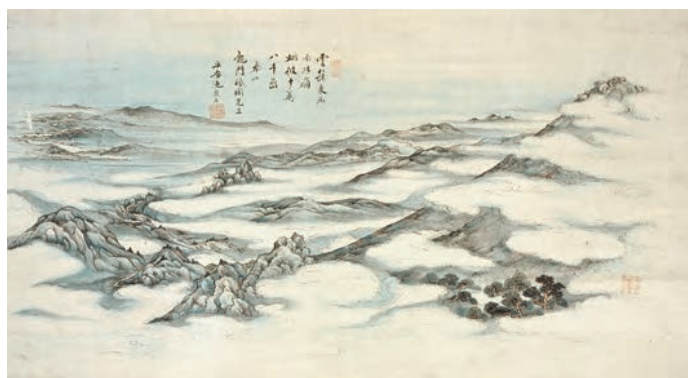
この時期の作品に顕著な優れた空間表現には、二十〜三十歳代にかけての旅を通じて得た自然景の実感が反映していると考えられています。大雅の画業において、旅がいかに大きな意味をもったかがわかりいただけるはずです。

国内では本当に久々となる大雅の大回顧展です。昭和八年（一九三三）に恩賜京都博物館（現在の京都国立博物館）で開催された「池大雅遺墨展覧会」を上回る約一五〇件、過去最大規模の作品・資料により、大雅の全貌に迫ります。どうぞお見逃しなく。

（福土雄也）



国宝 十便十宜図のうち 池大雅筆  
公益財団法人川端康成記念会（場面替えあり）



浅間山真景図 池大雅筆（通期展示）



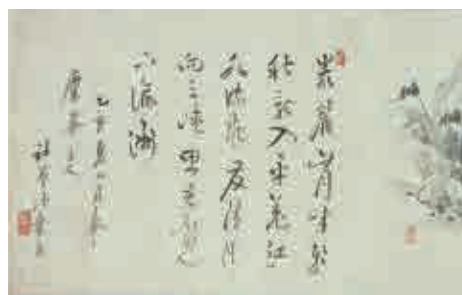
芳野山図 池大雅筆  
公益財団法人川端康成記念会（通期展示）



国宝 楼閣山水図屏風 池大雅筆 東京国立博物館蔵（後期：5）



重要文化財 五百羅漢図のうち 池大雅筆  
京都・萬福寺（通期展示）



四季山水図巻（部分） 池大雅筆 MOA美術館（場面替えあり）

特集展示

# 新収品展

6月12日(火)〜7月16日(月・祝)

【平成知新館 1F〜2F・2F-1】



行道面 菩薩  
京都国立博物館



銭弘徹八万四千塔  
京都国立博物館



花唐草時絵交椅  
京都国立博物館



平成知新館  
名品ギャラリー

3F-1 陶磁

【日本と東洋のやきもの】

【祝宴のうつわ・大皿】

6月19日(火)〜9月2日(日)

\*6月12日(火)〜6月17日(日)は休室。

3F-2 考古

【日本と韓国出土の考古遺物】

6月19日(火)〜9月2日(日)

\*6月12日(火)〜6月17日(日)は休室。

2F-1 絵巻

作品を展示して皆様にご覧いただくために必要な博物館の仕事として、たとえば安全な保管、適切な修理、学術的な調査が挙げられるでしょう。そして、それらとともに欠かせないのが「収集」です。世の中の文化財が散逸、損壊しないよう、良質な美術工芸品、考古遺物、歴史資料などを館の方針に沿って集めることは、ミュージアムの大きな役割です。

国立博物館で新たに収集した文化財は、国民の財産として公開することも求められます。しかし、当館では旧平常展示館建替などのため、それらの作品をまとめたかたちでお見せする機会が、こしばらく得られませんでした。このたび満を持して、平成二十二(二〇一〇)〜二十八(二〇一六)年度に当館が購入やご寄贈によって収集した文化財の多くをご紹介します。

なんとといっても七年分ですから、内容は盛り沢山。国宝「漢書楊雄伝第五十七」は、前漢の正史を記す唐時代の遺品。唐代に写された「漢書」は現存最古にして唯一です。

「銭弘俶八万四千塔」は呉越国最後の王である銭弘俶がつくらせた八万四千の塔のうちのひとつで、顕徳二年(九五五)の銘が刻まれます。総高二一センチ程度の小さな作品ですが、側面には釈迦の前世の物語(ジャータカ)が細かく表されています。

「花唐草蒔絵交椅」は折り畳み式の椅子で、ヨーロッパに輸出された漆工芸品です。蒔絵と螺鈿は日本製ですが、木地が西洋製の可能性もある点で、他には例の少ない貴重な一品です。「春秋禽狗遊楽図屏風」は、鳥の羽や鳴き声の美しさを競う「小鳥合」と、犬を闘わせる「大合」をそれぞれ春と秋の情景として描いた珍しい屏風。これらの催しに集う人々を見るのも楽しい、江戸時代前半の作品です。

重要文化財「鏤絵寒山拾得図角皿」は尾形光琳と乾山の兄弟合作。京都で培われた工芸と絵画の伝統が詰まった、まさに当館にふさわしい名品といえるでしょう。

その他、京都府向日市から出土した重要文化財「変形方格規矩鏡」や平安時代の「行道面 菩薩」など、バラエティに富んだ作品の数々が、百二十一年目を迎えた当館の新たな宝として、未来に受け継がれていくことになります。美と信仰を紡いできた京都における文化の底力を感じとっていただければ幸いです。

(井並林太郎)



重要文化財 鏤絵寒山拾得図角皿 京都国立博物館



国宝 漢書楊雄伝第五十七 巻首 京都国立博物館



重要文化財 変形方格規矩鏡 表裏 京都国立博物館



春秋禽狗遊楽図屏風 京都国立博物館



【特集展示 新収品展】  
6月12日(火)〜7月16日(月・祝)  
2F-2 仏画

【地蔵と十王】  
6月12日(火)〜7月8日(日)  
2F-3 中世絵画

【関東の水墨画家たち】  
6月12日(火)〜7月8日(日)  
2F-4 近世絵画ほか

【釈迦堂縁起絵巻】  
6月12日(火)〜7月8日(日)  
2F-5 中国絵画

【多名賀コレクションの中国絵画】  
6月12日(火)〜7月8日(日)  
1F-1 彫刻

【仏像入門2】  
4月7日(火)〜5月20日(日)  
【閻魔と地藏/日本の彫刻】  
6月12日(火)〜9月9日(日)  
1F-2 特別展示室

【特集展示 新収品展】  
6月12日(火)〜7月16日(月・祝)  
1F-3

【特集展示 新収品展】  
6月12日(火)〜7月16日(月・祝)  
1F-4

【特集展示 新収品展】  
6月12日(火)〜7月16日(月・祝)  
1F-5

【特集展示 新収品展】  
6月12日(火)〜7月16日(月・祝)  
1F-6

【特集展示 新収品展】  
6月12日(火)〜7月16日(月・祝)

【特集展示 新収品展】  
6月12日(火)〜7月16日(月・祝)

【特集展示 新収品展】  
6月12日(火)〜7月16日(月・祝)

【特集展示 新収品展】  
6月12日(火)〜7月16日(月・祝)

【特集展示 新収品展】  
6月12日(火)〜7月16日(月・祝)

【特集展示 新収品展】  
6月12日(火)〜7月16日(月・祝)

※展示作品リストは、当館ウェブサイトをご覧ください。

「予告」  
特集展示

# 謎とき美術！

## 最初の一步

7月21日(土)～9月2日(日)  
平成知新館 1F-2

昨年に引き続き、今年の夏も当館では、日本美術にはじめて触れる人に向けた展示をいたします。

お寺を訪ねると、襖や衝立に大きな龍や虎が描かれていることがあります。そこにはどんな意味が込められているのでしょうか。「松竹梅」の組み合わせは、着物や年賀状のデザイン、お食事処のメニュー表記など、日常のいろいろな場所で目にします。なぜこの三つの植物が組み合わされ、めでたいものとされるのでしょうか。この展示では、これら日本美術によく登場するモチーフを取り上げ、素朴な疑問に向き合います。

解説文は小学校高学年頃から楽しめる内容を予定し、日英中韓の四か国語をご用意します。謎解きをしながら、美術を楽しんでみましょう。  
(水谷亜希)



謎ときにチャレンジ！  
作品をよく見て考えてみよう。

### 問題1

結婚式で使われたこの着物には、めでたい植物が三種類、めでたい生きものが二種類描かれています。それは何でしょうか？



松竹梅鶴亀文様打掛  
京都国立博物館

### 問題2

伝説の生きもの、龍は雲を操ります。それでは虎は何を操ると考えられたでしょうか？ 次の中から選んでください。  
①風 ②土 ③火



龍虎図 円山応震筆 京都国立博物館

### 問題3

獅子(ライオン)と一緒によく描かれる、この花はいつたい何？ 次の中から選んでください。  
①たんぽぽ ②ぼたん ③ひまわり



獅子牡丹時絵黒箱  
京都国立博物館

答えは次のページにあります。展示では、このほかにも日本美術に登場する生きものや植物のヒミツに迫ります。どうぞお楽しみに。

国宝 懸守（七懸のうち桜形桜枝金具装）  
大阪・四天王寺

国宝展の終了後、出陳作品について科学調査をする機会に恵まれた。四天王寺蔵・国宝懸守である。ここでは出陳した四懸のうち「桜形桜枝金具装」（幅7.3cm、高さ6.4cm）の調査結果をご紹介します。

まず懸守とは、首に懸けて用いるお守りである。本作品は、木材を桜花形に成形し、その上に華麗な錦を貼り、さらに側面や角には金銀の金具が取り付けられている。染

織史や金工史の研究から、本懸守の製作は平安時代に遡り、この時期に高まった四天王寺信仰の中で、高貴な人物によって奉納された品といえる。

さて、この懸守は昭和年間に四天王寺が撮影した透過X線写真により、納入品があることは知られていたが、具体的な内容までは分かっていた。そこで、表からは見えない納入品を調べるためにX線CT調査を実施した。X線CT調査は非破壊で内部を詳細に観察できるため、画像調査などで一般的になりつつある手法であるが、懸守の内部を調査すること自体は初めてのことであった。

内部の世界を覗いてみると、そこには刳り貫かれた空間があり、円柱形の一枚を身と蓋に割った仏龕（直径2.3cm、高さ5.5cm）が、紙に包まれて納められていることがわかった。さらに身の内側には如来立像



X線CTスキャン画像（如来）

X線CTスキャン画像  
（三足卓および供養具）

が彫刻されており、袈裟の襷や蓮台の花びらまでも精緻に表現されていた。いっぽうの蓋の内側には、優美な曲線脚を持つ三足卓が置かれ、その上に火舎香炉と華瓶が同じく彫出され、三足卓の表現や火舎の蓋の形状を含め、平安時代後期のものとして矛盾はないとのこと。表の染織や金工の製作年代とも一致することがわかった。また如来の頭髪や唇には彩色が施され、仏龕内外面には截金と考えられる格子状の装飾も確認でき、仏龕は小さなものであるが、極めて精巧な装飾が施されているといえる。

懸守に後世の修理痕跡は認められないことから、仏龕が懸守に籠められてから現在までの千余年、誰も内部を見ることができなかったはずである。それを誰よりも早く内部を覗き見ることができたのは、現場の調査者の役得かもしれない。もちろん実物を直視したわけではなく、X線を通して内部を見るわけだが、これは二次元のX線画像を三次元画像へとコンピュータを使って再構築した、いわば仮想空間の世界を覗いているのである。少々怪しい世界ではあるが、この世界を覗きながら、共同研究者と画像を議論し、あれもこれもと調査・検討するのは楽しいものである。

このたび表からは見えない内部の世界を覗くことができ、そこで人の目に決して触れることのない納入品において、平安時代貴族の徹底した美意識を見ることができた。これほど高度な意匠が凝らされている懸守には驚きとともに、当時の職人の熱い思いを感じたのであった。

## 第25回国際博物館会議 (ICOM) 大会は京都で開催！

3年に1回、世界中の博物館関係者3千人以上が一堂に会する国際博物館会議 (ICOM) の第25回大会が、平成31年(2019)9月1～7日に京都で開催されます。

博物館を核とした関西全体の盛り上がり期待されています。今後の動きにぜひご注目ください。



## 「謎とときにチャレンジ！」の答え

- 問題1 松・竹・梅（冬でも元気な植物）  
鶴・亀（長生きを表わす生きもの）
- 問題2 ①風（絵の中では虎のまわりに強い風が吹いて、松の枝がしなっています）
- 問題3 ②ぼたん（花の王様の牡丹と、動物の王様の獅子は、よく一緒に描かれます）

## 土曜講座

6月16日「織田信長と蘭奢待—正親町天皇宸翰消息—」\*\*

京都国立博物館美術室長 羽田聡

6月23日「新羅印花文陶質土器をめぐって—スタンプ文様の世界—」

京都国立博物館列品管理室長 宮川禎一

6月30日「釈迦堂縁起と狩野派の絵巻」

京都国立博物館研究員 井並林太郎

\*\*…特集展示「新収品展」関連講座

※平成知新館 講堂にて、13時30分～15時に開催。定員200名、聴講無料（ただし当日の観覧券等が必要）。

※当日12時より、平成知新館1階グランドロビーにて整理券を配布し、定員になり次第、配布を終了します。

## 特別展「池大雅」記念講演会

4月7日「自由な魂を求めて—池大雅の憧れた文人的世界—」

京都国立博物館館長 佐々木丞平

4月14日「西湖への憧れ—大雅の名勝図を体感する—」

青山学院大学准教授/出光美術館学芸員 出光佐千子氏

4月21日「旅する画家の絵」

京都国立博物館研究員 福士雄也

4月28日「池大雅の絵画—あるいは卵の殻と黄身との関係—」

東京大学大学院教授 佐藤康宏氏

5月12日「大雅と蕪村—十便十宜図を中心に—」

岡田美術館館長 小林忠氏

※平成知新館 講堂にて、13時30分～15時に開催。定員200名、聴講無料（ただし当日の「池大雅」展観覧券が必要）。

※当日12時より、平成知新館1階グランドロビーにて整理券を配布し、定員になり次第、配布を終了します。

## 講座・イベント

《京都・らくご博物館 春》

日 時：5月11日（金） 18時30分開演（18時開場）

会 場：平成知新館 講堂

出 演：桂弥太郎 桂吉の丞 桂宗助 <中入> 桂文三 桂文之助

入 場 料：3100円（キャンパスメンバーズは学生証提示により2500円）

全席指定、特別展団体割引換券付

※チケットご希望の方は電話、またはWEBにて以下までお申し込みください。

電話/博物館事業推進係 075-531-7504（月～金の10～12時・13～17時に受付 \*祝日は除く）

WEB/ <http://www.kyohaku.go.jp/jp/event/rak/index.html> らくご博物館【春】申し込み画面

《平成30年度夏期講座のお知らせ》

テーマ：名品を旅するⅢ

開講日：7月27日（金）・28日（土） \*1日3講、計6講座となります。見学会はありません。

会 場：平成知新館 講堂 定員：200名 聴講料：3000円

※申込方法：往復はがきに住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記の上、京都国立博物館「夏期講座」係（〒605-0931 京都市東山区茶屋町527）までお申し込みください。お申込期間は6月1日～10日です。

\*5月31日以前の申込は無効となります。申込人数が定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。

また、熱で消せるボールペン（フリクションボールペン等）は使用しないでください。

## これからの展覧会

◆特集展示 謎とき美術！最初の一步

7月21日（土）～9月2日（日）

◆特集展示 百萬遍知恩寺の名宝

8月7日（火）～9月9日（日）

◆特別展 京のかたな 匠のわざと雅のこころ

9月29日（土）～11月25日（日）

## 国立博物館の展覧会

【東京国立博物館】

特別展「名作誕生—つながる日本美術」

4月13日（金）～5月27日（日）

【奈良国立博物館】

特別展「国宝 春日大社のすべて」

4月14日（土）～6月10日（日）

【九州国立博物館】

特別展「王羲之と日本の書」

2月10日（土）～4月8日（日）

特別展「至上の印象派展 ビュールレ・コレクション」

5月19日（土）～7月16日（月・祝）

## ◆ 明治古都館休館のお知らせ ◆

京都国立博物館では、明治古都館の免震改修他の基本計画を進めるため、特別展を平成知新館にて開催しております。特別展の前後を含めた期間は、展示作業等のため、名品ギャラリーを休止することとなりますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【今後の名品ギャラリー休止予定】

名品ギャラリー休止期間：3月20日（火）～6月10日（日）

庭園のみ開館：3月20日（火）～4月5日（木）

5月22日（火）～6月10日（日）

## ご利用案内

【開館時間】〈3月20日～4月5日〉9：30～17：00

〈4月7日～5月20日〉9：30～18：00

\*金・土曜日は20：00まで開館

〈5月22日～6月10日〉9：30～17：00

〈6月12日～9月9日〉9：30～17：00

\*金・土曜日は20：00まで開館

※入館は各開館の30分前まで

【観覧料】〈特別展「池大雅」〉

一般 1500円（1300円）

大学生 1200円（1000円）

高校生 900円（700円）

\*（ ）内は団体20名以上、中学生以下、障がい者とその介護者1名は無料（要証明）。

〈名品ギャラリー〉

一般 520円（410円）、大学生 260円（210円）

\*（ ）内は団体20名以上、高校生以下および満18

歳未満、満70歳以上無料、障がい者とその介護者1

名は無料（要証明）。

〈庭園のみ開館期間〉

一般 260円（210円）（庭園ガイド冊子付き）

\*（ ）内は団体20名以上、大学生以下、満70歳以上、

障がい者とその介護者1名は無料（要証明）。

【休館日】月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館）

4月6日

## アクセス

JR＝京都駅下車、市バスD2のりばより206・208号系統、D1のりばより100号系統にて博物館・三十三間堂下車すぐ

プリンセスラインバス京都駅八条口のりばより京都女子大学前行

にて東山七条下車、徒歩1分

近鉄電車＝丹波橋駅下車、京阪電車丹波橋駅から出町柳方面行

にて七条駅下車、東へ徒歩7分

京阪電車＝七条駅下車、東へ徒歩7分

阪急電車＝河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面行

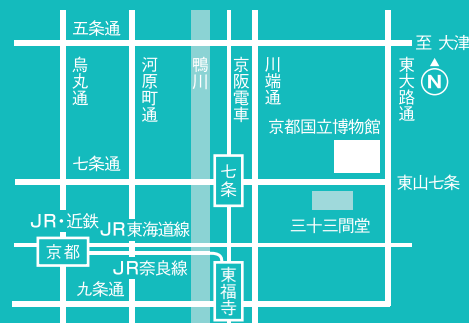
きにて七条駅下車、東へ徒歩7分

駐車場は有料となっております。ご来館の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

\*[博物館だより]を郵送ご希望の方は、返信用封筒（角2封筒は120円、

長3封筒は92円切手貼付、宛名明記）を同封して、当館企画室まで

お申し込みください。



〒605-0931 京都市東山区茶屋町527

TEL. 075-525-2473（テレホンサービス）

ホームページ <http://www.kyohaku.go.jp/>

発行日 2018年4月1日 デザイン 谷なつ子

編集・発行 京都国立博物館 印刷 株式会社  
ライブアートブックス

京都国立博物館  
KYOTO NATIONAL MUSEUM